

野田市立図書館及び野田市コミュニティ会館指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時	令和5年2月7日（火）午前9時から午後10時30分まで
開催場所	野田市役所4階 職員控室
出席委員	総務部長（副委員長）、企画財政部長、教育次長兼生涯学習部長、市民生活部長、行政管理課長、管財課長
欠席委員	副市長（委員長）
事務局	興風図書館、市民生活課、行政管理課

1 開会

<副委員長から開会の言葉>

2 議事

- (1) 令和4年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和5年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局から令和4年度（4月～12月）野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和5年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書11ページの児童、青少年層への読書普及のための取組について、図書館学校の開催により新規登録者数を増やしているが、登録者のその後の利用状況とこれまで登録されなかったことへの分析及び今後の対応を教えてください。

→ 図書館学校で利用登録をした際に貸出しを促しても、児童が一人で図書館に来られない場所に居住している等の理由により、返却が難しい家庭が多く、引率の教員から「図書館のカードは作るが、図書館学校当日に貸出しは希望しない」と言われることもある。

登録数の増加が、貸出数の倍増につながるようなことはないが、図書館学校をきっかけとして、継続的に利用してくれるようになる児童は確実に存在しているため、図書館学校やそのほかの催し等により、児童と保護者の方に図書館を知っていただく活動を、今後も進めていきたいと考えている。

- 業務報告書22ページのサービス向上のための取組について、「利用者サービスの向上に結びつけるために、ご意見箱を設置」とあるが、回収が0件である。昨年度に実施したアンケートの結果とそれに基づいて改善した点があれば教え

てほしい。

→ 昨年度実施したアンケートの結果では、「コロナが過ぎたら読書スペースを増やしてほしい」、「受付の対応がすごく良い」、「電子書籍の貸出しもしてほしい」等の意見を頂いた。読書スペースについては、令和4年4月22日から利用制限が緩和されたため、閲覧席の全席開放、利用者用検索機全台開放等により、利用できる読書スペースを増やすことができた。

○ 業務報告書22ページの図書館アンケートの実施予定について、アンケート結果が図書館運営に反映される時期はいつ頃か教えてほしい。

→ 次年度以降の反映を予定しており、反映できるものについては、速やかに反映したいと考えている。

○ 業務報告書43ページの事故、要望又は苦情の対応状況について、「特にありません」とのことだが、利用者とのコミュニケーションは取れているか教えてほしい。

→ コミュニケーションは取れていると考えている。利用者対応については、親切な対応のスタッフが多いとの言葉を頂くこともある。

○ 集計の基準がほかの施設と違うのではないか教えてほしい。

→ 対応は、同じ基準で行っている。市長への手紙及び問合せメール等も、せきやど図書館及び関宿コミュニティ会館に関する苦情は、ここ2年ほどない。

○ 業務計画書5ページの児童、青少年層への読書普及のための取組について、「図書館学校の開催依頼を受けたときは、常に実施できるように準備をします」とあるが、周知はどのように行う計画か教えてほしい。

→ 図書館学校事業の周知としては、図書館から遠い小学校に対しては興風図書館が各学校へ図書館学校の希望票を配布している。近隣の小学校に対しては、関宿地区読書推進活動の巡回の際に説明し、周知している。

○ 業務計画書17ページの人員配置について、関宿コミュニティ会館の説明に「コミュニティ会館業務の専任スタッフを令和5年1月より二人体制から三人体制に変更し、シフトを組んで業務を行います」とあるが、現場に配置される職員の数は増えるのか教えてほしい。

→ 勤務時の人数は変わらない。1日当たりの出勤者は、二人体制のときと同じ一人である。

○ 業務計画書18ページの人材育成の取組について「社内のeラーニングシステムを活用し、スタッフが時間、場所の制限なく研修を受講できる」とあるが、

どのような研修を予定しているのか教えてほしい。

→ レファレンス研修、著作権についての研修、高齢者サービス研修、障がい者サービス研修、魅力的な書架づくり、図書館の広報、電話でのコミュニケーション及びビジネスマナー研修等があり、希望により受講可能である。

○ 業務計画書27ページの図書館アンケートの実施について、実施時期はいつ頃を予定しているか教えてほしい。

→ 令和6年3月を予定している。

○ 業務計画書34ページの自主事業に関する計画について、複写機の運用が赤字のようだが、自主事業として実施する理由は何かあるのか教えてほしい。

→ 複写機は収益を見込むために導入しているのではなく、施設を利用する市民の利便性のために導入している。

<審議の結果>

令和4年度(4月～12月)野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和5年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について承認

(2) 令和4年度(4月～12月)野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務報告書及び令和5年度野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局から令和4年度(4月～12月)野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務報告書及び令和5年度野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

○ 業務報告書22ページの児童、青少年層への読書普及のための取組について、北図書館でのYA図書館サポーターの参加者なしとあるが、周知はどのように行っているのか。また、今後も参加がなかった場合の代替事業や中高生世代に向けた取組の検討がされていれば教えてほしい。

→ ポスターの掲示及び貸出しカウンターでのちらしの配布等により周知している。今までは掲示及び配布等を図書館内で行っていたが、今後は近隣の中学校等で周知することを検討し、参加者が集まるようにしたい。

- 業務報告書24ページのレファレンスサービス充実のための取組について、サービスの提供は、どのように行っているのか、専用の窓口や対応するスペースが用意されているのか。また、処理件数など実績の数字は記録しているのか教えてほしい。
- レファレンスサービス専用の窓口や対応するスペースは設置しておらず、貸出しカウンター等の窓口と併用している。また、件数については、内容に応じて「資料検索」、「参考調査」、「利用案内」及び「読書案内」に分類し、受付件数を集計している。令和5年1月の受付件数は、南図書館は資料検索95件、参考調査77件、利用案内2件、読書案内3件の合計177件であり、北図書館は、資料検索84件、利用案内78件の合計162件である。

- 業務計画書49ページの収支計画（2）支出について、光熱費の市場価格高騰に伴い、電気料金及びガス料金の予算額を増額しているが、そのほかに指定管理者の経営努力で予算を縮減できる項目はないか確認したか教えてほしい。
- 電気、ガス、燃料費以外の支出予算については、当初より絞り込んだ金額に設定しており、更に大幅な縮減を見込むのは厳しい状況である。なお、図書館、コミュニティ会館運営において、節約できるところは最大限の節約をする考えで、特に光熱費に関しては、照明の間引き、こまめな消灯、空調使用時間の削減、適切な温度設定等、利用者に迷惑のかからない範囲の中で、できることはすべて実行し光熱費の削減に努めている。

<審議の結果>

令和4年度(4月～12月)野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務報告書及び令和5年度野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館業務計画書について承認

3 閉会